

教室名 上小スマイルふれんど

### 連絡先

場 所：妻ヶ丘地区公民館

電 話：0986-23-8592

F A X：

E-mail：

## 1 事業の目的・理念

○子どもたちに安全で安心して遊べる場（居場所）を提供できるよう、地域の大人の協力を得ながら、地域に根ざした体験・交流活動の機会の充実を図る。異学年の多くの友達と、自由に遊んだり学習する中で、お互いを思いやる心や社会の一員としての必要な知識・技能及び態度を育てる。

## 2 運営について

主な活動場所	上長飯小学校 体育館、家庭科準備室、運動場	平均参加人数	24.4人
開設時間等	毎週火・水曜日 年（約 90）回 午後2時30分～午後5時	対象学年	小学1年生～6年生
コーディネーター	活動内容 学校・保護者・地域団体・関係機関との連絡調整。 活動プログラムの企画・検討・運営。		( 1 ) 人
安全管理員	活動内容 安全で安心して楽しく活動するための見守り・指導。 活動プログラムの企画・検討・運営。		( 4 ) 人
学習アドバイザー	活動内容		( 0 ) 人

## 3 活動紹介（特色等）

○自由遊びを中心に行っているが、全員の交流を図るために月1回みんな遊びを取り入れている。  
○教室独自の級を設定し、お手玉検定を行っている。  
○年度当初と、夏休みに親子参加の活動を設け、保護者との交流を図っている。  
○時間に余裕のある時や子どもたちの様子をみて、帰りの会に読み聞かせをし、子どもたちの気持ちを落ち着かせてから帰宅させることもある。

## 4 参加者・保護者の感想・意見等

○家庭で経験できない活動もあり、ありがたかった。  
○親子で参加できる活動があり、子どもが楽しむ姿を見られ良かった。  
○異学年の子（上の学年）との交流ができて良かった。  
○習い事があり、帰宅後友達と遊べないので、教室を通してたくさんの友達と知り合えた。  
○夕食時の話がはずむようになった。  
○共働きのため、下校後（放課後）のことが気がかりだったが、とても安心できるようになった。

## 5 事業全体の成果と課題

- 遊べる場（居場所）の確保が一応できた。特に学校との連携を密にし、放課後使用していない教室や体育館・運動場を使うことができた。
  - 校時程との関係で、使用したい場所が十分に使えなかったこともあった。今後とも居場所の確保に努めること。
- 計画に基づいた様々な学習活動や体験・交流活動が楽しく実施できた。十分とは言えないが、社会性や自立性・人間性なども、学年相応に成長の跡が見られた。
  - 特に学習に対する根気強さや後始末などの態度育成に努めること。
- 地域の高齢者クラブの方・交通指導員・保護者など、大人の参画を得て、楽しく有意義な活動ができた。
  - 説明を聞いて実動に移るが、活動時間が少ないため成就感が薄いこともあったので、十分な活動時間の確保に努めること。
- ボランティア協力者（中学生・高校生）の参加を得て、子どもたちも大いに喜び楽しい活動ができた。
  - ボランティア活動は素晴らしいことであり、今後も中・高生の参加を継続して取り組むこと。



高齢者とふれあいミニボーリングの様子



体育館での自由遊びの様子